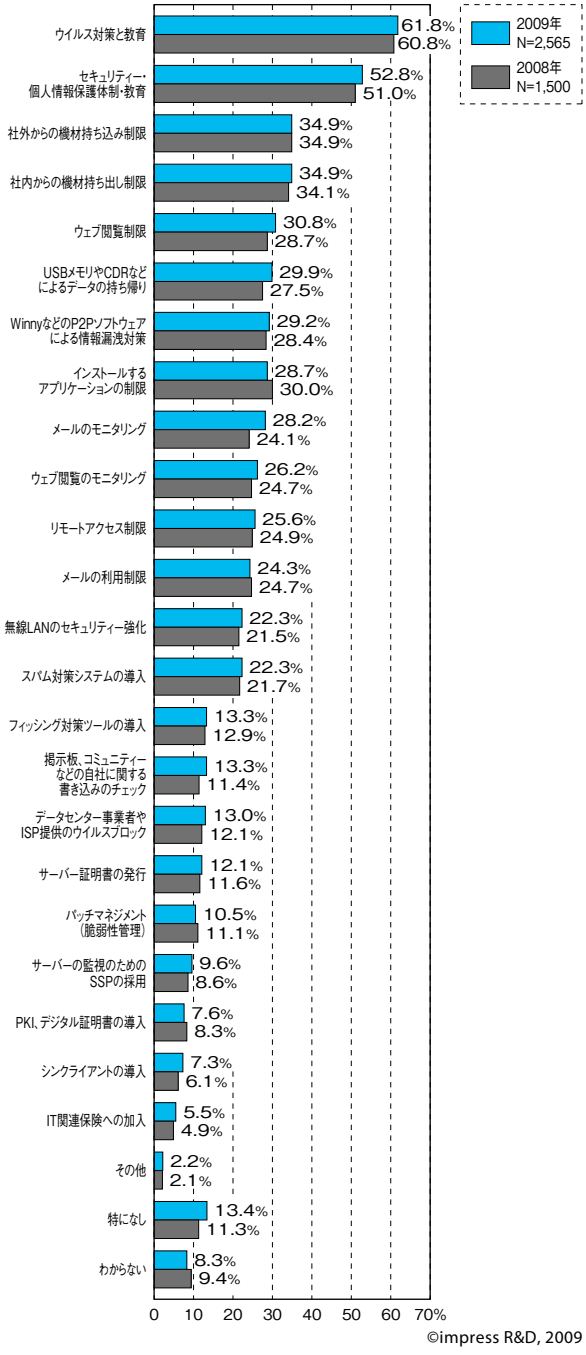
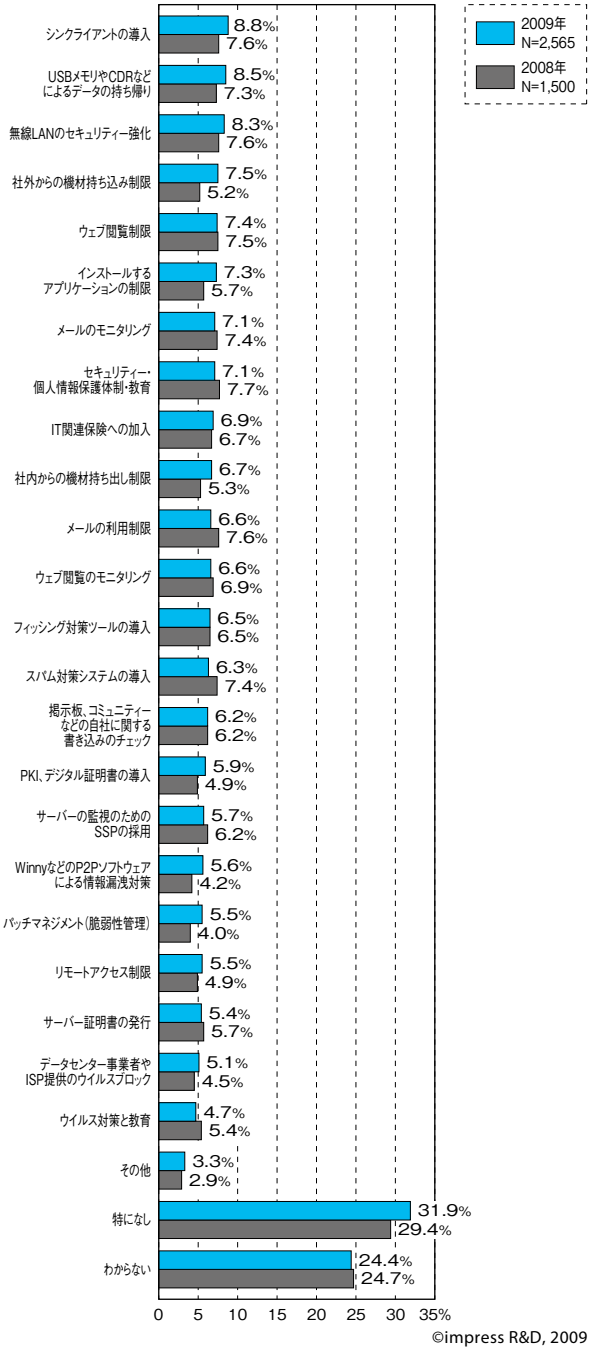
セキュリティー対策は社員への教育が上位

取り組んでいる対策では、「ウイルス対策と教育」が61.8%でトップで、「セキュリティー・個人情報保護体制・教育」が52.8%となり、昨年同様に主に教育に取り組んでいることがわかる。一方、今後取り組む予定の対策では、「特になし」「わからない」が高いが、実際の対策では、端末にデータを保存できないため個人情報などの漏洩対策に効果的な「シンクライアントの導入」が初めてトップとなった。

資料8-7-4　取り組んでいるセキュリティー対策（複数回答）［2008年-2009年］



資料8-7-5　今後取り組む予定のセキュリティー対策（複数回答）［2008年-2009年］

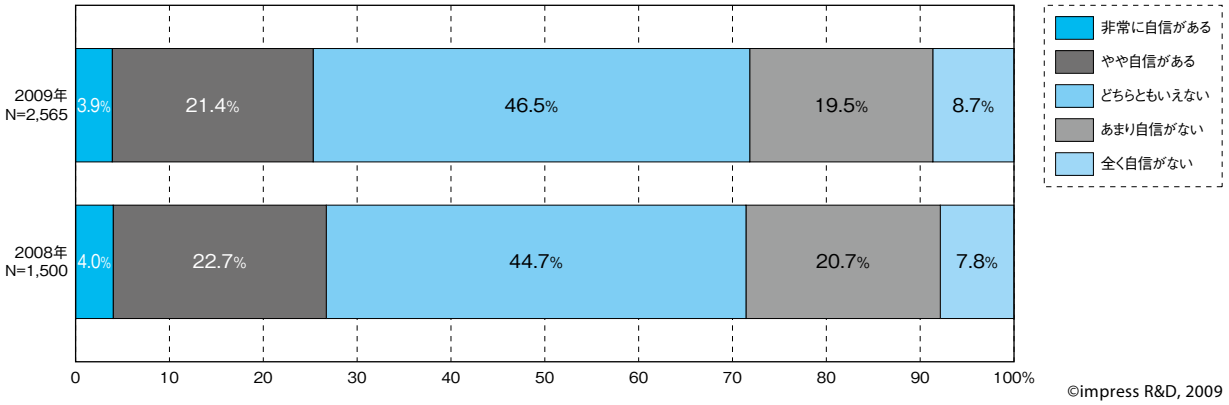


インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

セキュリティー対策に自信がある企業は25.3%のみ

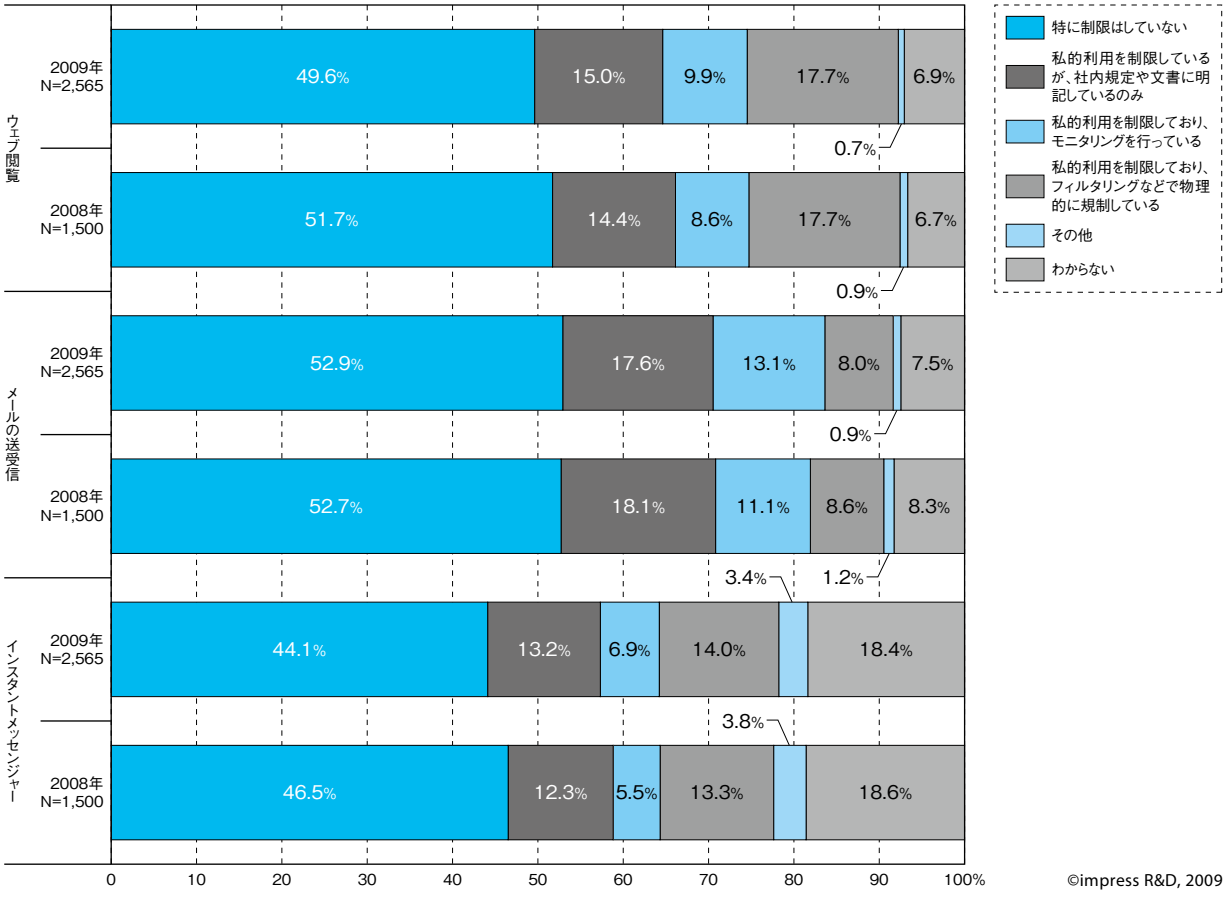
取り組んでいるセキュリティー対策の効果については、「非常に自信がある」と「自信がある」を合わせた比率は25.3%で、昨年よりも低下している。多様化、高度化する攻撃に対し、企業が不安を感じている結果となっている。一方、ウェブ閲覧やメールなどの私的利用の制限では、特に制限はしていないという企業が半数程度で、制限や規制を行っている企業の比率より高くなっている。

資料8-7-6　取り組んでいるセキュリティー対策の効果[2008年-2009年]



©impress R&D, 2009

資料8-7-7　インターネットやメールの私的利用の制限有無[2008年-2009年]



©impress R&D, 2009

インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

Internet White Paper ARCHIVES
インターネット白書
ARCHIVES
1996,1997,1998,1999,2000

［インターネット白書ARCHIVES］ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

http://IWParchives.jp/

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先 | 株式会社インプレスR&D | ✉ iwp-info@impress.co.jp

©1996-2012 Impress R&D, All rights reserved.